抜き打ち調査実施報告書

法人名 施設名	社会福祉法人「天雲会」 特別養護老人ホーム　龍生園
実施日 時　間	開始　　2019 年　3 月 28 日（木）　23 時 40 分 終了　　2019 年　3 月 29 日（金）　10 時 00 分
評価者名	是枝祥子　　本間郁子　（2 名）

※結果（運営基準の順守）

抜き打ち調査の職員の対応	23:40 にインターフォンを押すと介助中か反応がなく、電話で連絡し新町 1 丁目の夜勤職員が対応した。抜き打ち調査実施書を手渡し、調査を開始した。

夜勤者数	12 ユニット（＋ショートステイ 2 ユニット） 定員 117 名で夜勤者 6 名（ショートステイ 1 名の夜勤者） （運営基準は 6 名。重要事項説明書通り）
拘束の有無	全居室（自室から鍵をかけている人,不穏な人以外）を確認した結果、拘束は無し。
プライバシーの確保	全居室はドアが閉まっており、プライバシーが守られ、排泄介助も適切であった。
不適切な対応	無し。夜間、ほとんどの方が安心して休まれている様子を伺うことができた。ショートステイの方は夜間ずっと目を覚まし、居室内で動いていたり、テレビみたりしている方もいたが普通の日常生活であった。 職員は、コール対応も終始言葉使いが丁寧で優しく敬意をもった穏やかな対応であった。不適切な状況は全く見受けられなかった。

【特記】

龍生園に到着すると玄関を開けてくれた職員は、「抜き打ち調査」で来たことに対して、通常通り対応して受け入れてくれた。全体的に、清潔で整理整頓ができており、日常生活が大切にされた支援を確認することができた。また、四季折々の季節感を大切にした居住環境の楽しみを感じることができた。

夜勤者２人に「天雲会」の理念、基本方針を尋ねると、理念は明確に答えることができたが、基本方針は５つのうち４つ答えることができた職員と全く答えられない職員がいた。

夜勤体制は12ユニット（全室個室化）で６人配置しており、コンプライアンスはきちんと守られていた。（ショートユニットは１人体制）

「拘束」はゼロ。本当にすばらしいケアである。重度者が増えている状況下で、職員の専門職としての知識と技術、そして意識と行動が伴った結果だと高く評価できる。

「コールの位置」は、ほぼ適切な位置に置かれていた。ただ、一部（写真あり）、コールが壁に掛けられている、ベッド枠に掛けられ下にぶら下がった状態にあり入居者の手に届かない位置に置かれていることが見受けられた。しかし、職員に確認をとったところ、入居者の状態によってコールが置かれており、適切な理由として認められた。

居室内は臭いを感じさせなかった。また、共有トイレ（2部屋に１ヶ所）も清潔で臭いはなかった。清掃が行き届いていた。

桜町は建物が古いが、清潔で整理整頓ができており、住み心地の良さを感じさせる環境であった。

排泄介助などの場面において、ていねい語で話すなど誠実な対応であった。信頼と安心感がある関係を感じることができた。

すべての浴室は換気が十分に回っており、清潔が保たれていた。

各ユニットの食堂は清潔で整理整頓ができていた。冷蔵庫はチェック表も貼られ、清潔のメンテナンスの体制はあるが、一部のユニットはチェックしていないところも見受けられた。

食堂はテーブルだけ置かれ、椅子がない状況が年々増えてきている。車椅子の人が増えてきていることが理由だと思われる。

「ブライト企業認定証」が掲示されていた。

「おもちゃとしょかん」が活用され、地域とともにある施設の活動に広がりを感じさせた。

ショートステイの利用者は１６名定員のうち、抜き打ち審査を行った日は 12 名の利用であった。

全体的にサービスの質の水準は保持されていた。夜勤職員の言葉や態度は誠意のある対応ができており、信頼に基づいた穏やかな日常生活が営まれていることを確認することができた。

施設全体に手作りの木の調度品があちこちに置かれ暖かい感じを醸し出していた。生活環境の視点からお金では買えない貴重な財産、大切に持続してほしい。

夜勤者が丁寧に業務に取り組んでいる姿があってこそ、利用者の安全が守られていることが伝わってきた。
龍生園の職員の定着率は高く、それに伴って高齢化してきている現状がある。しかし、今後、そのような職員の退職などに備え、若い世代の働き方などに対応する組織体制の見直しや人材育成のあり方を見直す時期にきていることは否めない。

施設を取り巻く自然環境は高齢者の生活に大きく貢献していると思う。利用者や家族、地域住民のためにも維持できるよう努力することを願う。
龍生園の利用者への対応（言葉、態度）は、人間に対する心からのやさしさと温かさが感じられる場面が多くあった。これからも、そのようなケアが世代間を超えて維持できるよう期待する。